

特殊詐欺の発生状況（平成29年11月末） ～7月以降、架空請求詐欺多発！！～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（11月末現在）

- 被害認知件数は**99件**（前年同期比+12件）
- 被害総額は**約2億2,412万円**（前年同期比+約1億906万円）
- 架空請求詐欺が全体の約半数を占める（50件）

2 11月中の認知状況

- 被害認知件数は**8件**（前年同月比-5件）
- 被害額は**約4,224万円**（前年同月比+約3,038万円）
- 手口は、
 - ◎ 振り込め詐欺 7件
 - ・ 架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目） 5件
 - （その他の名目） 2件
 - ◎ 振り込め詐欺以外の特殊詐欺 1件
 - ・ ギャンブル必勝情報提供名目 1件

3 県内の特殊詐欺の傾向（11月中）

○ 架空請求詐欺が多発！

11月中も、大手インターネットサイトを名乗って「有料サイトの利用料金が未納である」、「連絡がない場合、法的手続きに移行する」などと記載されたメールを送りつけ、お金をだまし取る架空請求詐欺の被害や相談が相次いでいます。

メールに記載されている連絡先に電話をすると、犯人から、「このままだと裁判になる、逮捕される」

「手数料以外は後で返金するので、コンビニで今すぐ支払うように」などと指示され、コンビニ決済での支払いや電子マネーの購入によりお金をだまし取られますので、メールに記載された連絡先には絶対に連絡せず、すぐに家族や警察に相談してください。

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	平成29年11月末現在		
	男性	女性	計
～ 19	-	-	-
20 ～ 29	3	2	5
30 ～ 39	4	7	11
40 ～ 49	5	4	9
50 ～ 59	5	11	16
60 ～ 64	6	3	9
65 ～ 69	3	6	9
70 ～ 79	5	22	27
80 ～ 89	1	12	13
90 ～	-	-	-
合計	32	67	99
内65歳以上の高齢者	9	40	49

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	平成29年11月末現在 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	49
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	2
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	21
電子マネー型	23
キャッシュカード受取型	4
合計	99